

[参考・10月（確報）]
外食及びエシカル消費に関する
意識調査結果

令和3年11月17日（水）

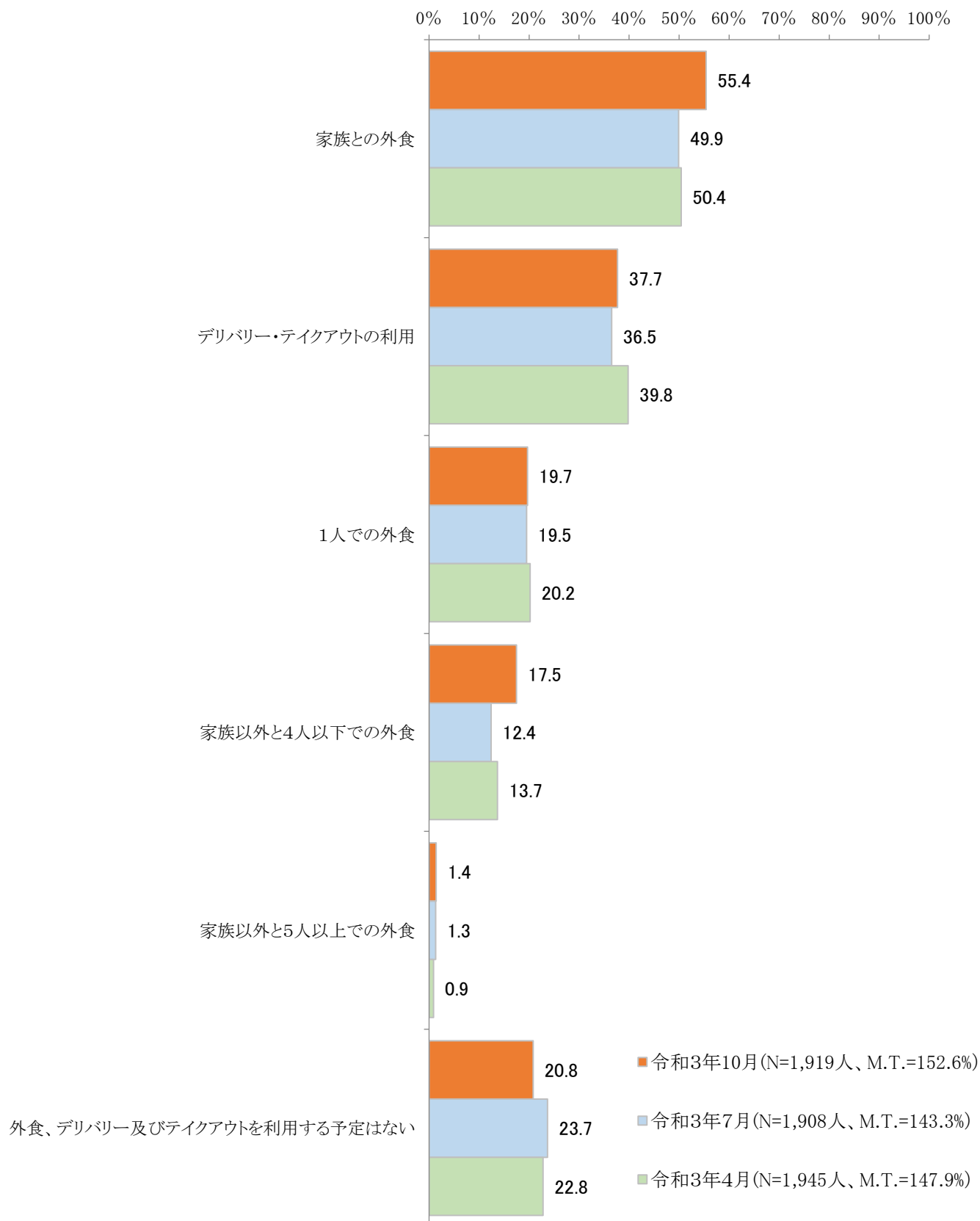


注) 外食及びエシカル消費に関する意識調査は、物価モニター調査の令和3年4月、7月及び10月調査のみの設問であったため、令和3年4月、7月及び10月調査から当該意識調査部分を抜粋し、確報として数値を更新した上で、参考として公表するものである。

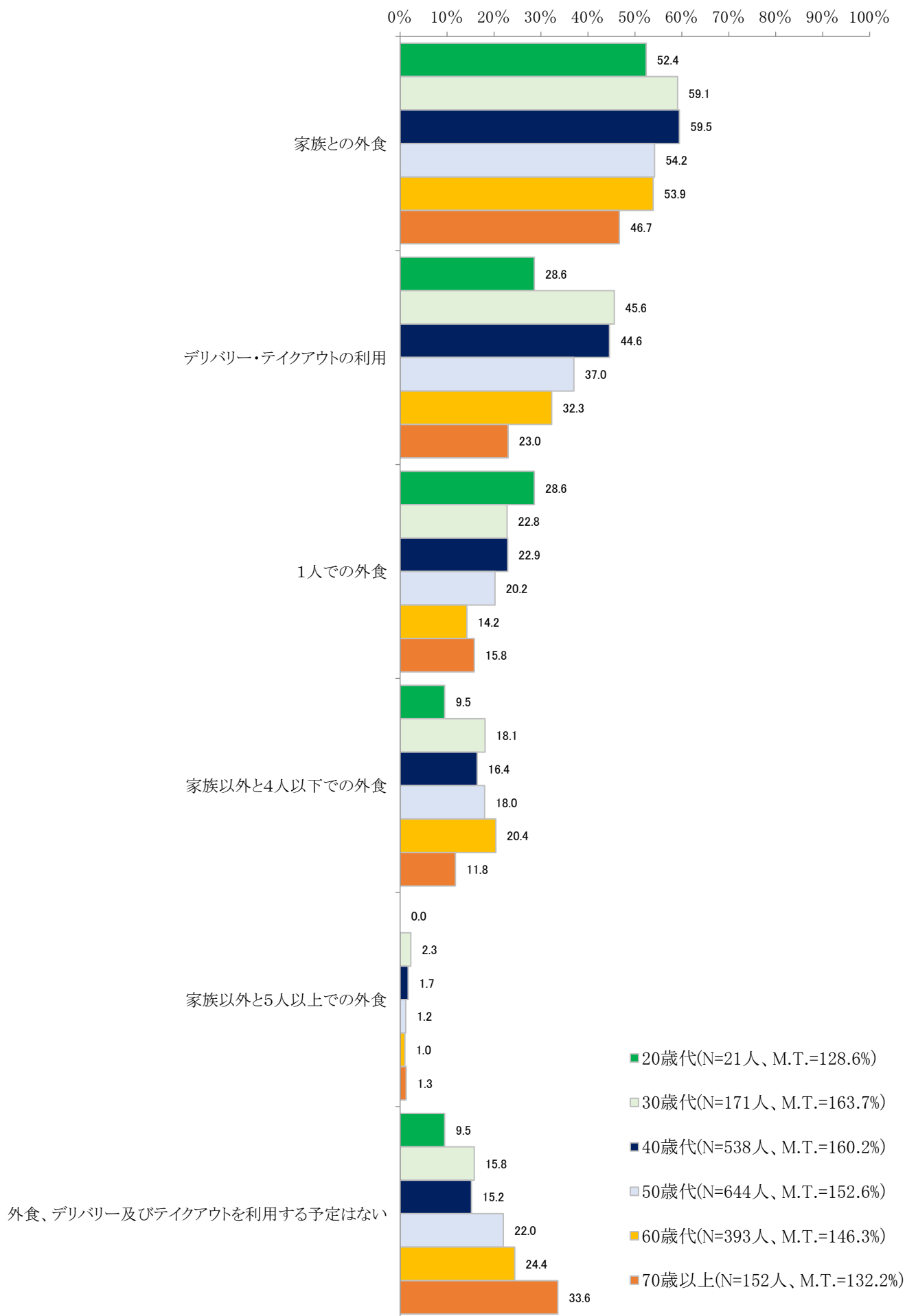
1. 意識調査結果

問1 外食、テイクアウト及びデリバリーについて伺います。次のうちあなたは今後1か月程度の間どのような場面で外食(※)、テイクアウト又はデリバリーを利用する予定ですか。該当するものを全て選んでください。

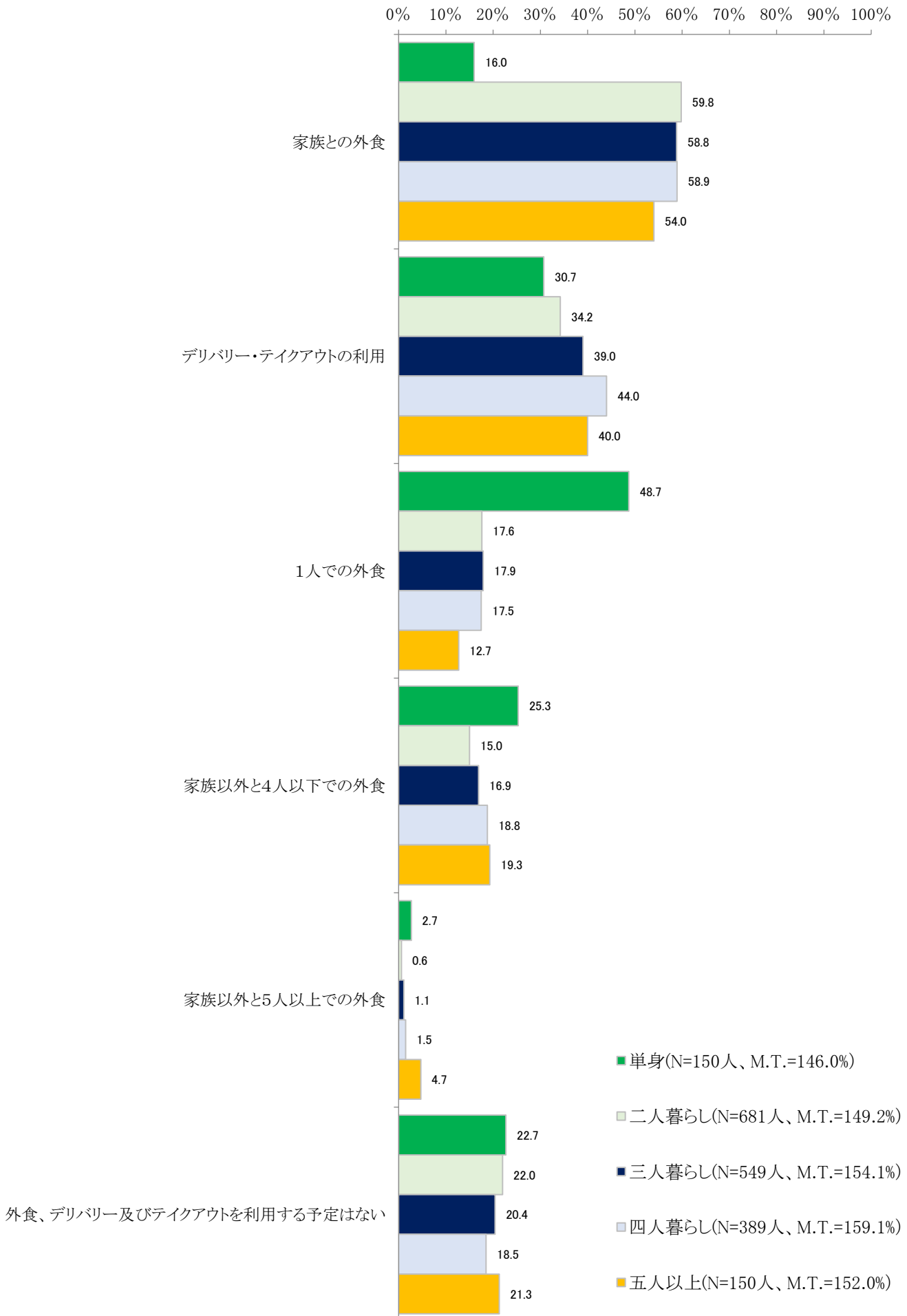
(※) 食堂・レストラン、喫茶店、ファーストフード店等を含む飲食店の店舗での飲食



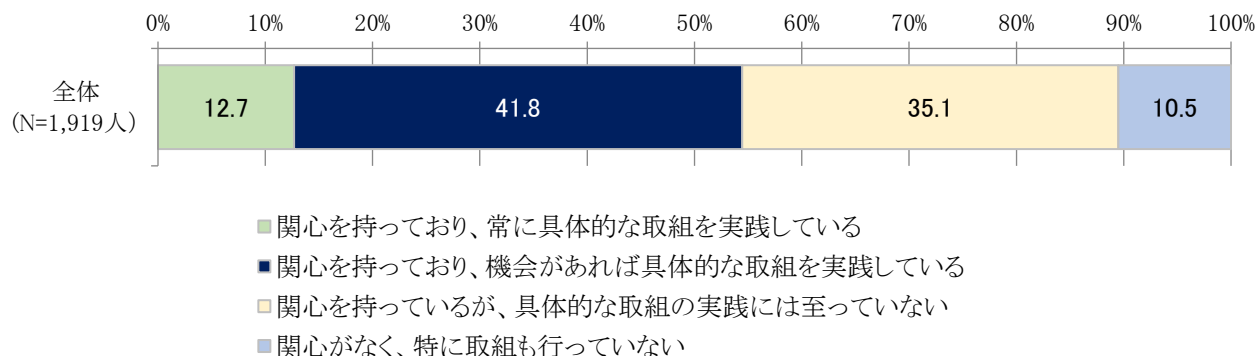
<年代別>



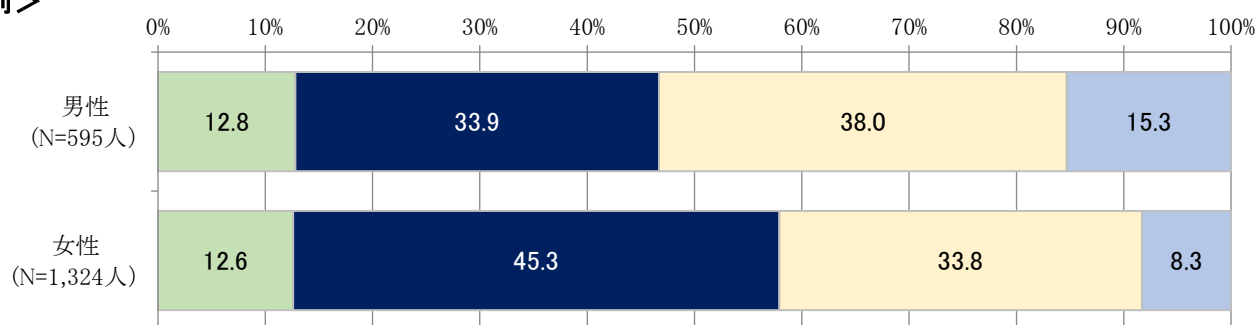
<居住形態別>



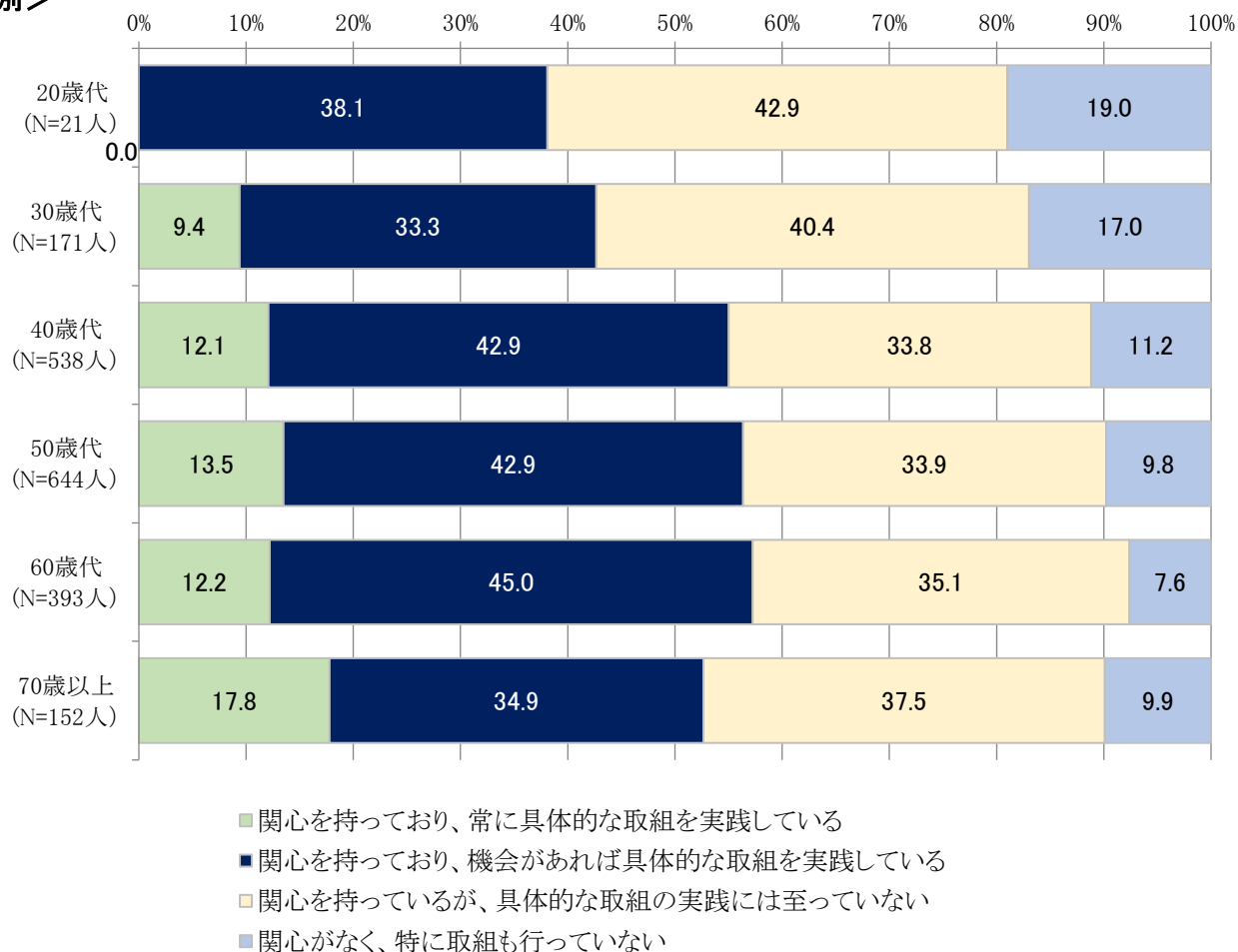
「持続可能な開発目標(SDGs)」が推進される中、人や社会、環境等の社会的課題に配慮した消費行動(「エシカル消費」と呼ばれています)が注目されています。こうした消費行動(エシカル消費)についてお伺いします。
 問2 エシカル消費に関するあなたの現在の関心の度合い及び取組状況について、最も当てはまるものを1つ選んでください。



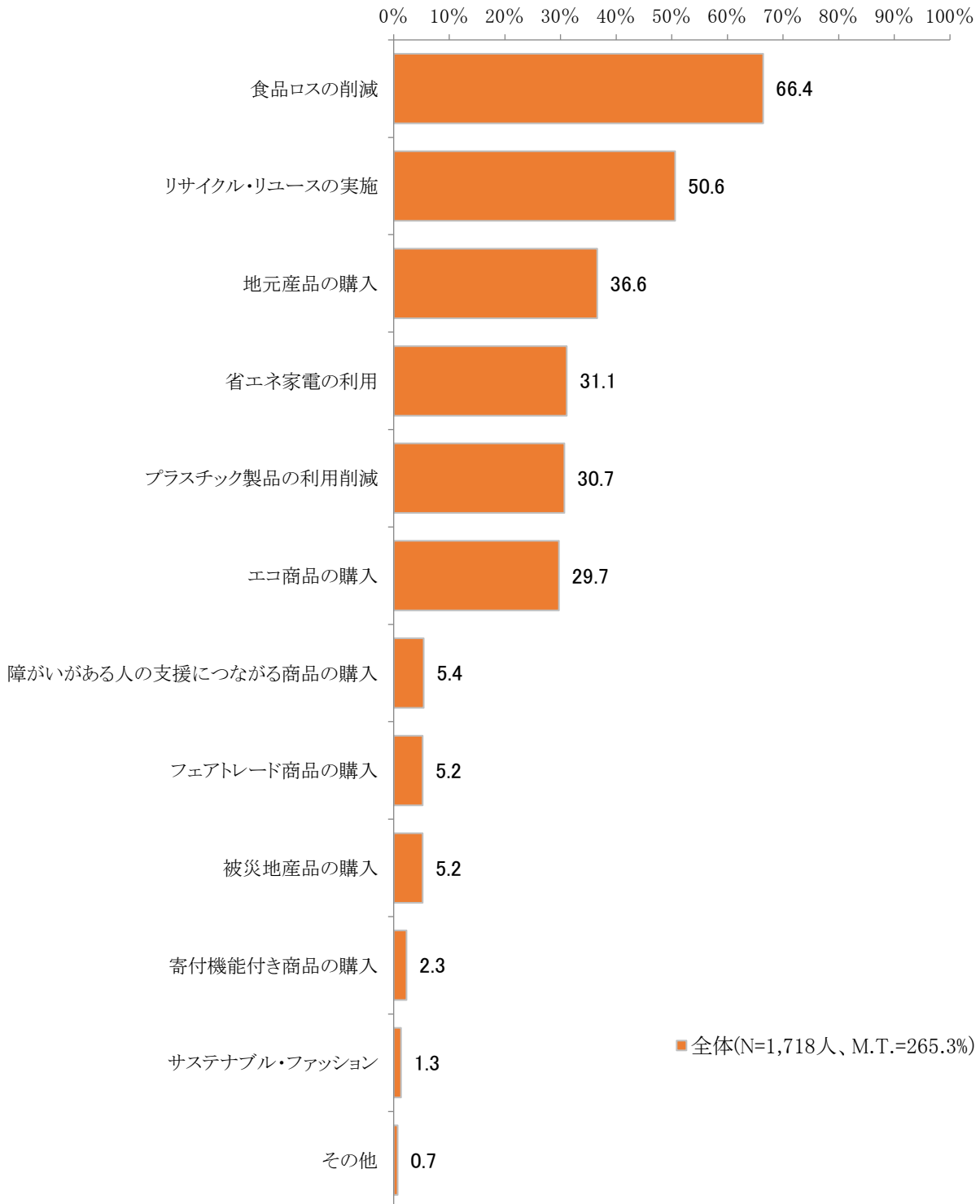
<性別>



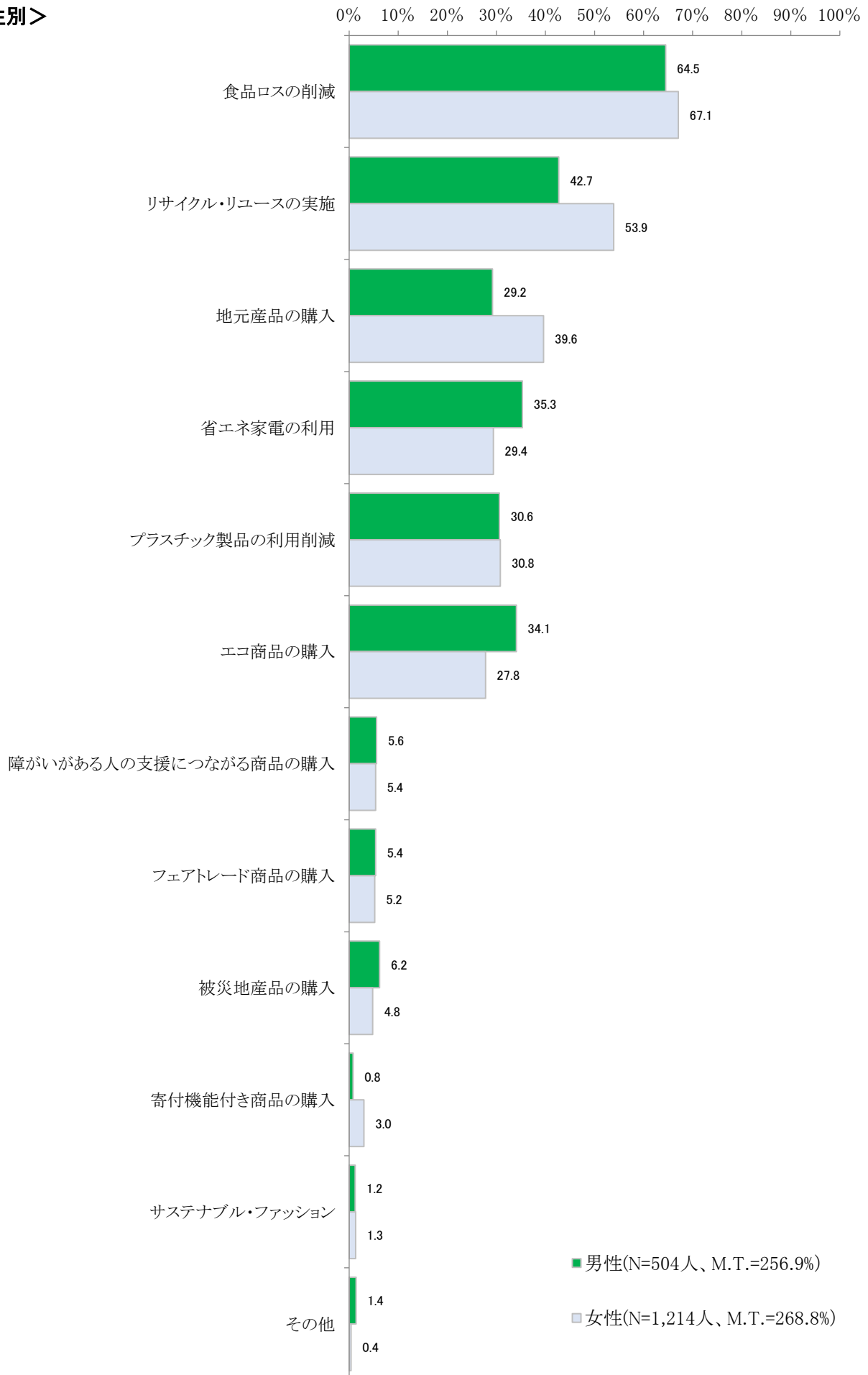
<年代別>



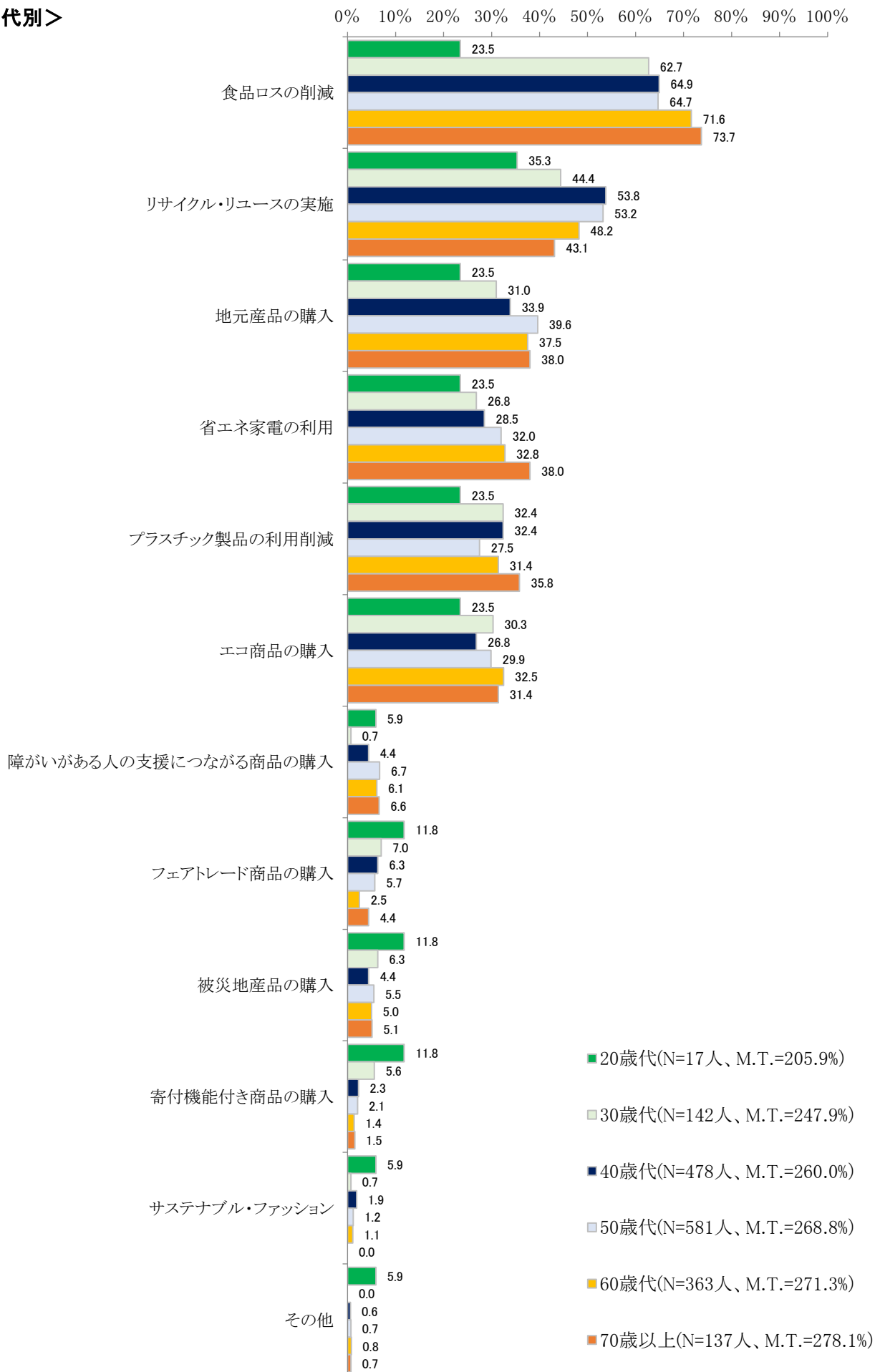
問3 (問2で「関心を持っており、常に具体的な取組を実践している」、
「関心を持っており、機会があれば具体的な取組を実践している」又は
「関心を持っているが、具体的な取組の実践には至っていない」と回答した方がお答えください。)
エシカル消費としてあなたが特に意識して実践している(「関心を持っているが、具体的な取組の
実践には至っていない」と回答した方は特に関心を持っている)ものは何ですか。
当てはまるものを3つまで選んでください。



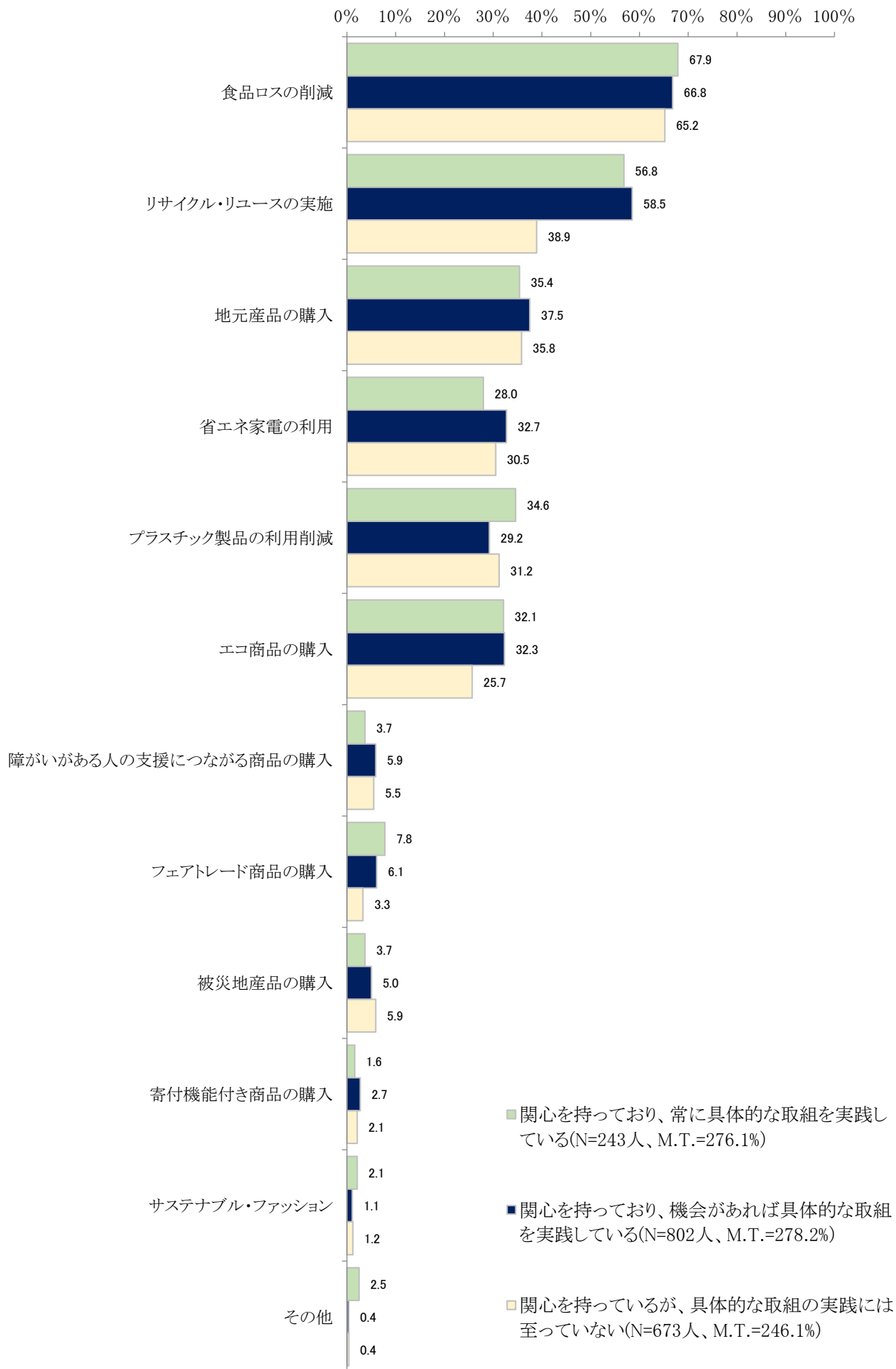
<性別>



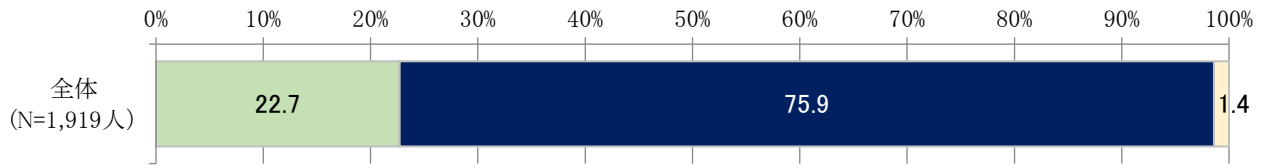
<年代別>



<エシカル消費への関心・取組度合い別>



問4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比較して、エシカル消費に関するあなたの関心の度合いの変化について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

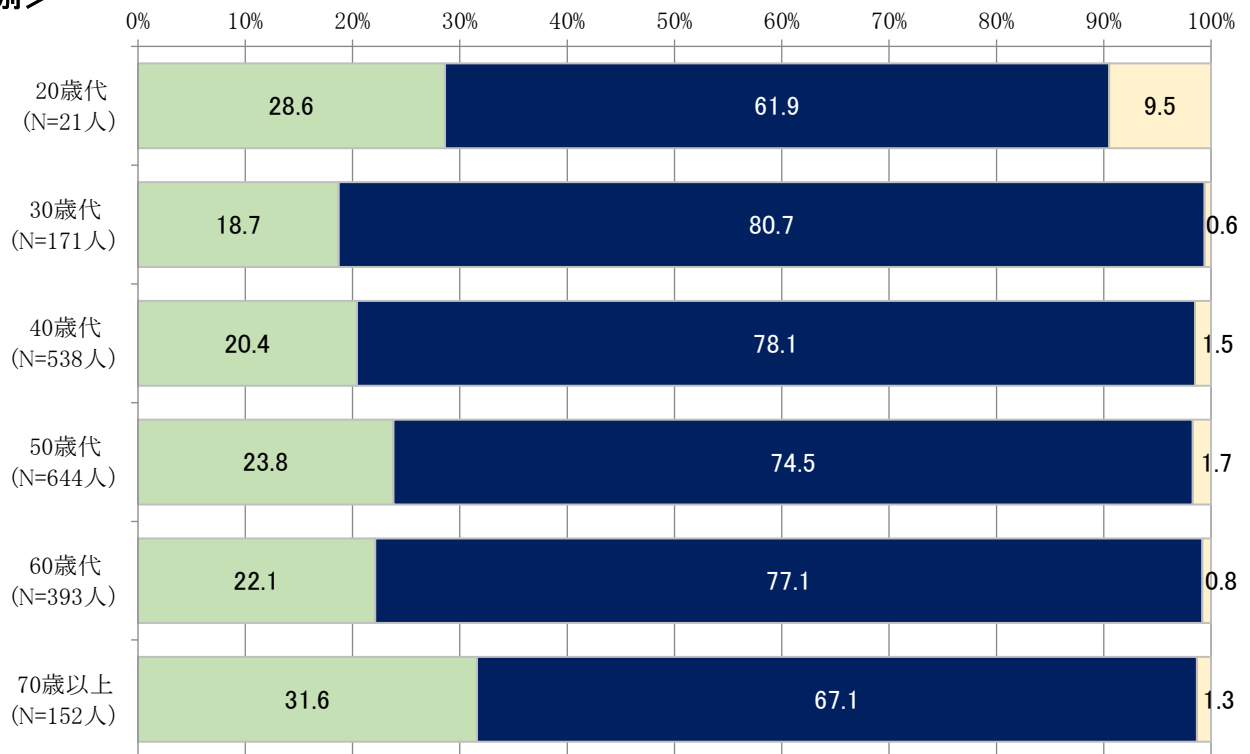


■ 感染拡大前と比較して関心が高まった ■ 感染拡大前後で変わらない ■ 感染拡大前と比較して関心が低くなった

<性別>

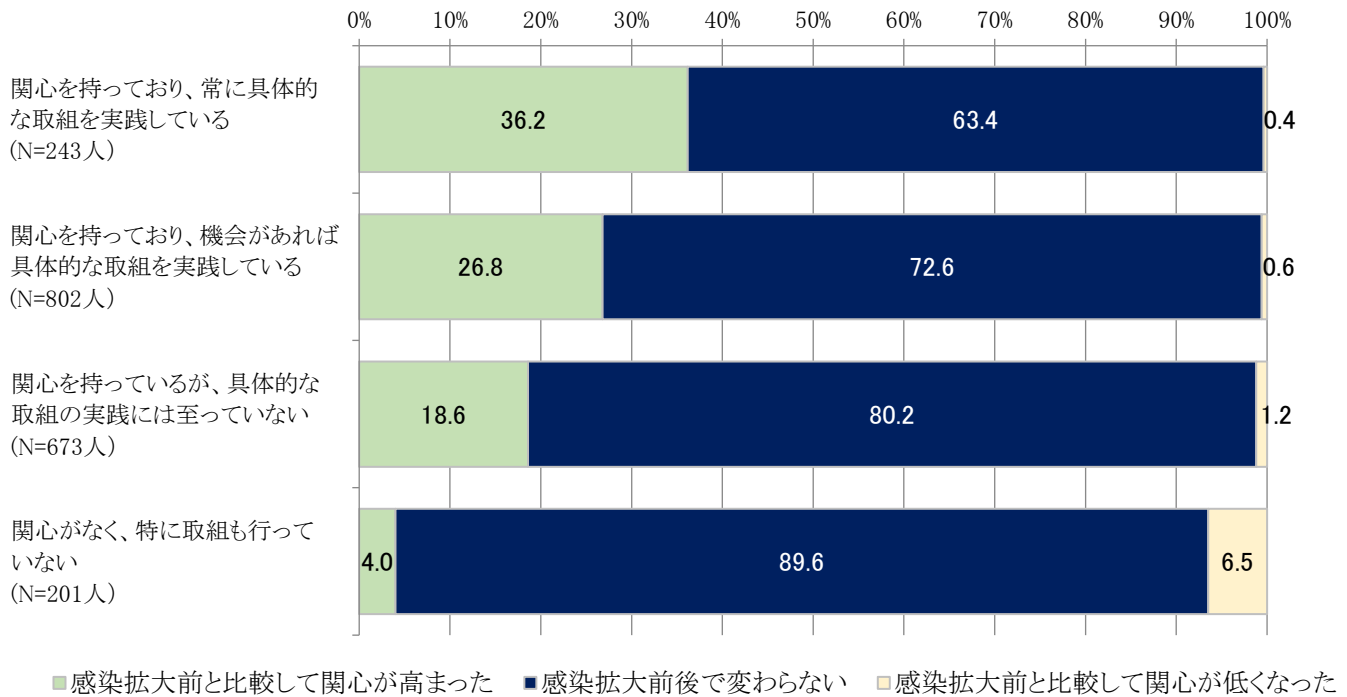


<年代別>

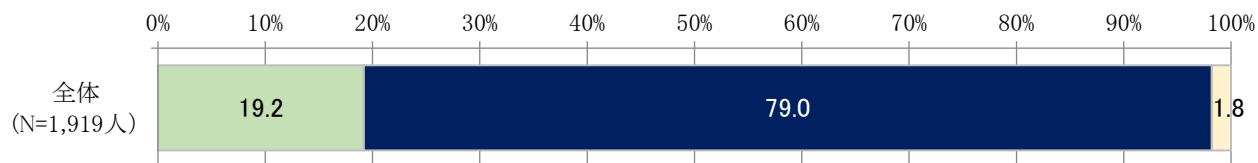


■ 感染拡大前と比較して関心が高まった ■ 感染拡大前後で変わらない ■ 感染拡大前と比較して関心が低くなった

<エシカル消費への関心・取組度合い別>

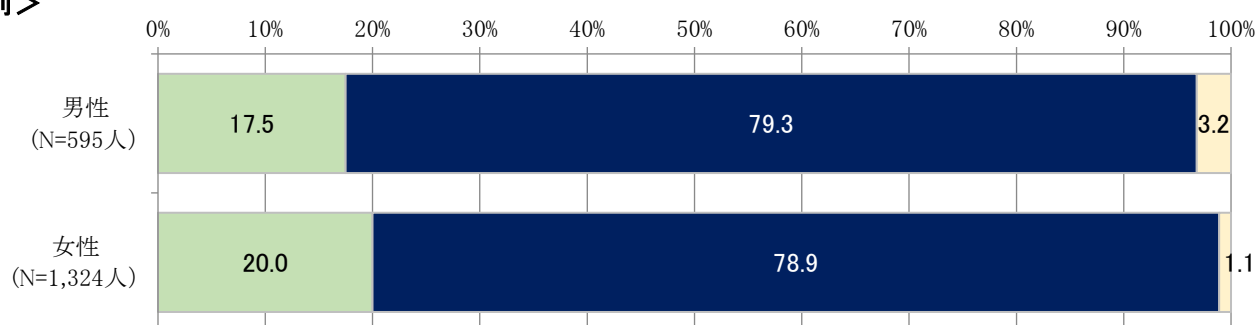


問5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比較して、エシカル消費に関するあなたの取組状況の変化について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

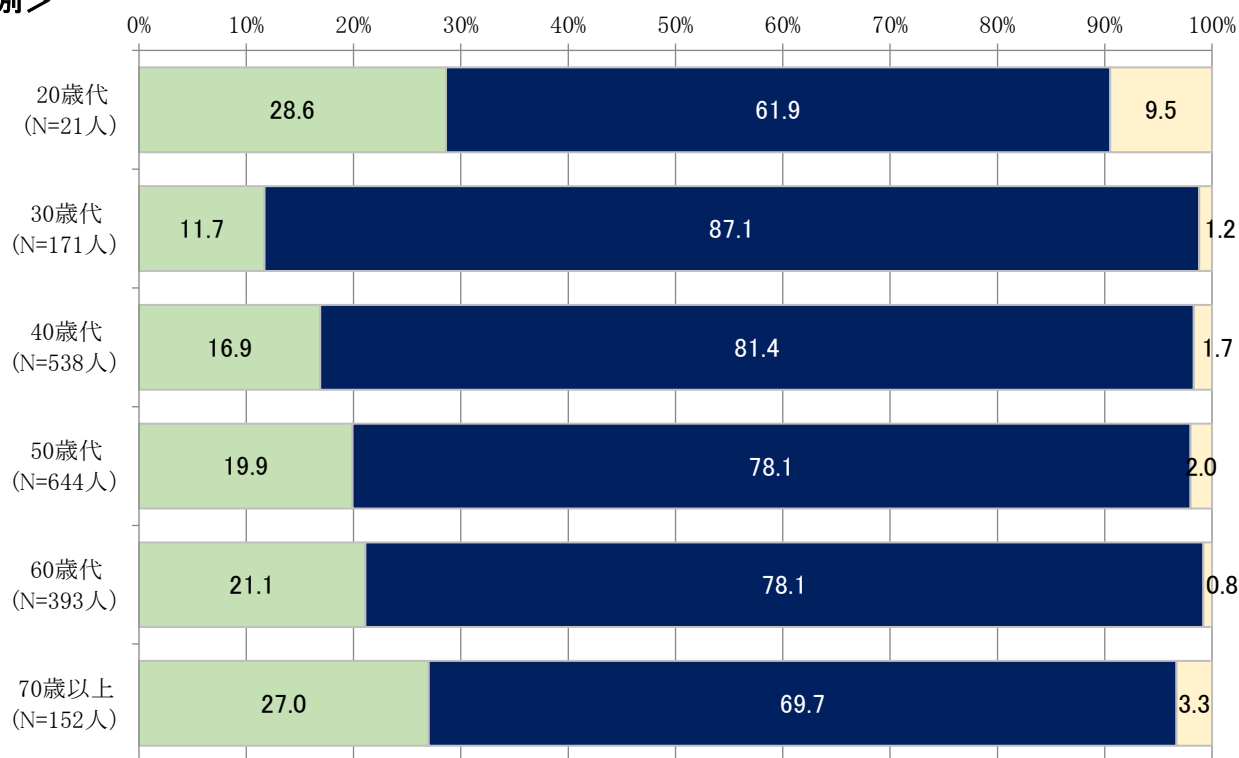


■ 感染拡大前と比較して実践の機会が増えた ■ 感染拡大前後で変わらない ■ 感染拡大前と比較して実践の機会が減った

<性別>

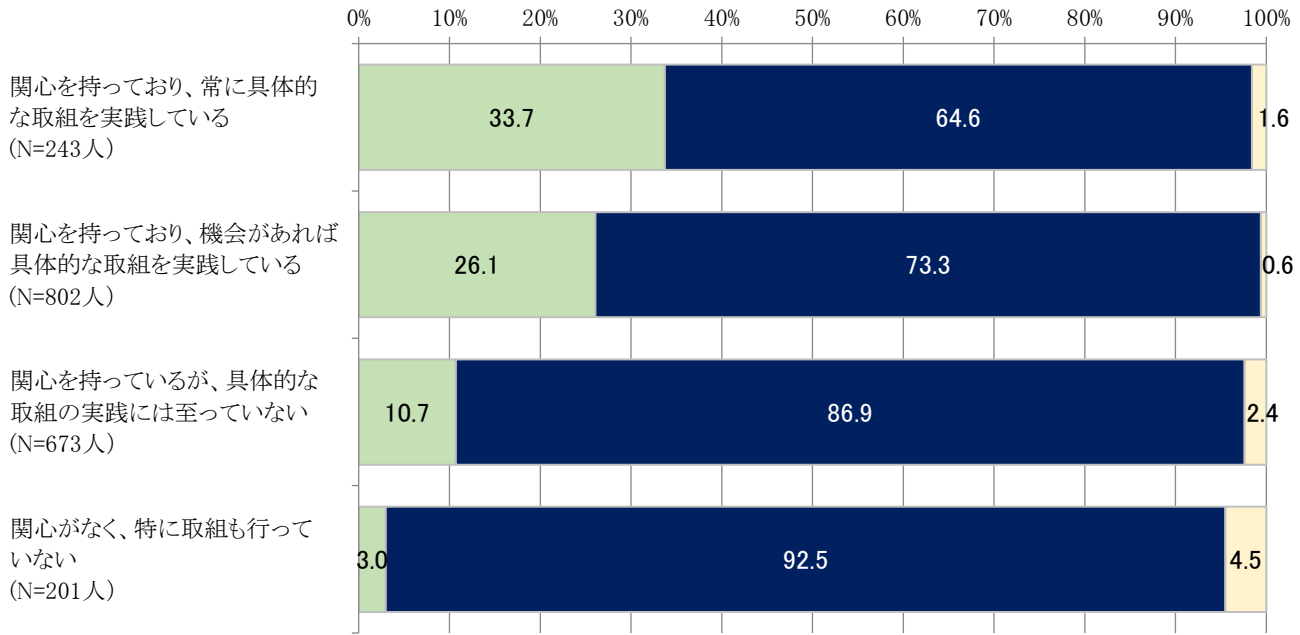


<年代別>



■ 感染拡大前と比較して実践の機会が増えた ■ 感染拡大前後で変わらない ■ 感染拡大前と比較して実践の機会が減った

<エシカル消費への関心・取組度合い別>



■ 感染拡大前と比較して実践の機会が増えた ■ 感染拡大前後で変わらない ■ 感染拡大前と比較して実践の機会が減った

2. 10月調査(確報)の回答者の属性

10月調査の回答者数: 1,919人

①性別

男性	595人 (31.0%)
女性	1,324人 (69.0%)

②年齢

20～29歳	21人 (1.1%)
30～39歳	171人 (8.9%)
40～49歳	538人 (28.0%)
50～59歳	644人 (33.6%)
60～69歳	393人 (20.5%)
70歳以上	152人 (7.9%)

③職業

正社員	547人 (28.5%)
正社員以外の被雇用者	547人 (28.5%)
会社、団体などの役員	12人 (0.6%)
自営業	72人 (3.8%)
専業の主婦・主夫	549人 (28.6%)
学生	7人 (0.4%)
無職	151人 (7.9%)
その他	34人 (1.8%)

④居住地方

北海道	81人 (4.2%)
東北地方	130人 (6.8%)
関東地方	660人 (34.4%)
北陸甲信越地方	118人 (6.1%)
中部地方	234人 (12.2%)
近畿地方	317人 (16.5%)
中国地方	116人 (6.0%)
四国地方	64人 (3.3%)
九州・沖縄地方	199人 (10.4%)

⑤居住形態

単身	150人 (7.8%)
二人暮らし	681人 (35.5%)
三人暮らし	549人 (28.6%)
四人暮らし	389人 (20.3%)
五人以上	150人 (7.8%)

⑥世帯年収

300万円未満	287人 (15.0%)
300～500万円	509人 (26.5%)
500～700万円	510人 (26.6%)
700～1,000万円	394人 (20.5%)
1,000万円以上	217人 (11.3%)